

令和7年5月28日（水）アジア・アフリカ難民支援運動講演会 6月13日（金）アジアフ PR 活動

【アジア・アフリカ難民支援運動講演会】

5月28日(水)にアジア・アフリカ難民支援（以下アジアフ）講演会を行いました。アジアフ支援運動は、大町北高校時代（1985年）に生徒がふるしきを集めてマリ共和国に送ったことから始まった運動です。岳陽高校ではその運動を引き継ぎ、毎年アフリカのマリ共和国の学校へ支援物資を行っています。今回はこの支援運動の意義を考えるため、JICA でケニアの支援活動を行った市原華世さんを講師にお迎えし、国際協力の意義や支援活動をする中でご自身にどのような影響があったかなどをお話していただきました。世界の国の8割は発展途上国であることや、それが地球全体の問題であること、日本のあたり前は世界のあたり前ではないことなど、ご自身の経験談を交えてお話いただきました。ケニアで暮らす人々が貧しい＝不幸ではなかったことを話したうえで、生徒たちにとっての「豊かさ、幸せ、ボランティア」がどんなものか、考えてみてほしいと問いかけました。質疑応答の時間には生徒複数名から質問があり、生徒たちが関心をもって講演を聞いていたことが伝わりました。



生徒が講演を聞く様子



市原さんが講演をする様子

【アジアフ PR 活動】

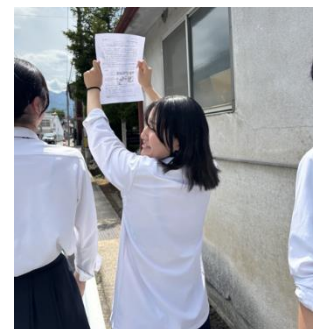


地図を確認する様子

この運動について話したりする場面も見られました。地域の方がビラを見て回収日の確認をする姿や、文化祭で行われるアジアフバザーを楽しみにしているといったお声もいただき、生徒たちは地域との繋がりを感じ、この運動の意義をより一層感じられた様子でした。

6月13日（金）、近隣の方々から支援物資を集めるためのPR活動を行いました。系の生徒たちは地図を拡大して全校の生徒の割り振りをしたり、PR で使用するビラの作成をする等、事前準備に取り組んできました。

当日は、全校の生徒が割り振られた場所に出向き、近隣の方々に挨拶をしながらビラを配りました。生徒が地域の方とこの



ビラ配りの様子